

○議長（茅沼隆文）

日程第6 議案第19号 平成27年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）を議題といたします。

予算書の説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（亀井知之）

議案第19号 平成27年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）。

平成27年度開成町の介護保険事業特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,867万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億1,162万1,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成28年3月4日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、1ページお開きください。

第1表、歳入歳出予算補正。歳入につきましては、3款の国庫支出金から7款繰入金で、補正額合計2,867万5,000円の減額でございます。歳出につきましては、2款保険給付費から7款予備費で、補正額は同じく2,867万5,000円の減額。合計、補正後の額が10億1,162万1,000円となります。

今回の補正の主な内容でございますが、歳入におきましては、歳出側の保険給付費が減額になったことに伴いまして、法定の国庫金、県負担金、あるいは支払基金、それぞれの交付金が減額となっているものでございます。歳出では、特に施設サービス等給付費の給付額が減になっていることによる減額、また住宅改修費やサービス計画給付費の増加等による増額補正が主な内容でございます。

それでは、詳細をご説明いたします。8ページ、9ページをご覧ください。

2、歳入。3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金、説明欄に飛びまして928万円の減。こちらは、サービス給付費等の減に伴います現年度分の介護給付費負担金の減でございます。

次の2項国庫補助金、1目調整交付金は、調整交付金の金額が決定したことにより増額補正をさせていただくものでございます。

一つ飛びまして、4款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目介護給付費交付金、及び、その次の2目地域支援事業費支援交付金ともに、サービス給付費等の減に伴いまして減額補正をさせていただくものでございます。

次に、5款県支出金、1項県負担金、1目介護給付費負担金、その下の2目地域支援事業費交付金（介護予防事業）、また、その下の3目地域支援事業費交付金（包括的支援事業・任意事業）、三つともに該当サービスの給付費等の減に伴う減額補正と

なっております。

次のページをお開きください。

7 款繰入金、1 項一般会計繰入金、1 目介護給付費繰入金でございますが、こちらでも該当サービスの給付費等の減に伴う減額補正でございます。

7 目低所得者保険料軽減繰入金は、退職者が増えたことによりまして低所得者の保険料軽減に係る繰入金を増額するものでございます。

次に、12、13 ページをご覧ください。

3、歳出。2 款保険給付費、1 項介護サービス等諸費、3 目施設介護サービス費は、給付見込み額が当初より下回る見込みであることから減額補正をさせていただくものです。

次の6 目居宅介護住宅改修費及び次の7 目居宅介護サービス計画給付費は、当初予算より給付見込みが上回ると想定されますため、それぞれ40 万円と295 万8,000 円を増額させていただくものでございます。

次の9 目地域密着型介護サービス給付費でございますが、今後の給付見込み額を勘案しまして100 万円を減額補正させていただくものでございます。

次の3 項高額介護サービス等費、1 目高額介護サービス費は、給付の伸びの状況を勘案し153 万円を増額補正させていただくものでございます。

次ページをご覧ください。

3 款地域支援事業費、1 項介護予防事業費、1 目介護予防高齢者施策事業費及び次の2 項包括的支援事業費、1 目包括的支援事業費は、財源更正となっております。

次の4 款基金積立金、1 項基金積立金、1 目介護保険財政調整基金積立金及び下の7 款予備費、1 項予備費、1 目予備費でございますが、これまでの給付費の増減に対応するため、それぞれ300 万円と56 万3,000 円を減額させていただき対応させていただくものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

11 番、菊川議員。

○11 番（菊川敬人）

11 番、菊川です。

歳出の12、13 ページをお願いいたします。2 款1 目施設介護サービス費、説明欄の1 番、施設介護サービス給付事業費が2,900 万円の減となっております。私はサービス利用者というのは増えるのではないかなというふうに思っていたのですが、ここでは2,900 万ほど減額がされています。利用者が減ったということでありますが、ここで2,900 万程度減る対象者の要因というのが何か生じたのでしょうか。減った状況というのがどういう状況なのか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

保険健康課長。

○保険健康課長（亀井知之）

それでは、お答えさせていただきます。

施設介護サービス等給付費、ご承知のように、いわゆる介護老人福祉施設と、それから介護老人保健施設、介護療養型の医療施設、この三つに対するサービスの給付でございます。現在3月でございますので、1月までの実績を勘案しまして対象者の入所者数の合計等を勘案いたしました。伸びているような状況は確かにございますけれども、当初の予算額よりは計上が若干、当初予算が多かったというようなことで、ここで減額をさせていただくということでございます。ですから、入所者数につきましては、確かに議員の言われるように若干伸びている状況ではあります。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質問はございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質問がないようですので、討論に入ります。

討論のある方、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決を行います。

議案第19号 平成27年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

着席ください。起立全員によって可決いたしました。